



# 高瀬中だより

郡山市立高瀬中学校

令和5年1月10日発行

《第45号》 文責：校長 齋藤高志



## 3学期始業式を行いました。

本年もよろしくお願ひいたします



保護者の皆様、あけましておめでとうございます。

本日、オンラインでの始業式を行い、3学期の学校生活がスタートしました。式では、校長式辞の後、各学年の代表生徒の皆さんが3学期の抱負を堂々と発表しました。本年も高瀬小中コミュニティ・スクールを土台に地域と共にある学校づくりを進めてまいります。本校教育活動へのご理解とご協力をよろしくお願ひいたします。



## 学校評価（12月実施）教職員自己評価・生徒・保護者アンケート結果（その1）

本校は県・市の教育方針のもと、下記「学校経営の5つの柱と10の重点事項」により教育活動を推進しています。12月に重点事項10項目と小中共同課題1項目について、第2回学校自己評価（生徒・保護者・教職員アンケート）を実施しました。本号からその結果についてお知らせしてまいります。

### 1 「創造：進んで学び挑戦する生徒の育成」

- (1) 「誰一人取り残さない」視点による学習指導
- (2) 読書活動・新聞活用による読解力向上

### 2 「自立：自ら考え判断しやり遂げる生徒の育成」

- (1) 協力・協働して物事をやり遂げる生徒の育成
- (2) 自主的・主体的に取り組む生徒の育成

### 3 「健康：たくましい心と体をもつ生徒の育成」

- (1) 「誰一人取り残さない」視点による組織的な支援
- (2) 生徒の健康・体力の維持向上

### 4 「高瀬小・中コミュニティ・スクール」

- (1) 高瀬小・中9年間を通じた教育活動の推進
- (2) 地域学校協働活動の推進

### 5 「保護者・地域・関係機関との連携」

- (1) 保護者との信頼関係の構築
- (2) 教育活動に関する不断の情報発信

### \* 小中共同課題

- (1) あいさつがしっかりできる児童生徒の育成

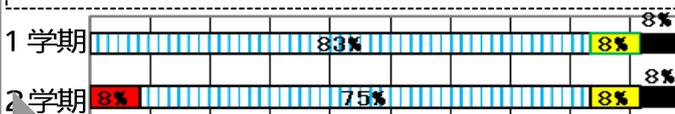
■ A：とてもそう思う       B：まあそう思う  
■ C：あまりそう思わない       D：全くそう思わない

## 1 「創造：進んで学び挑戦する生徒の育成」

### (1) 「誰一人取り残さない」視点による学習指導

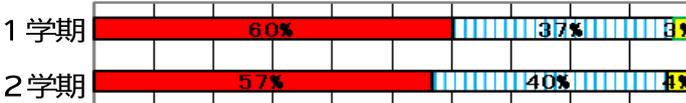
#### ① 教職員自己評価結果

ICTを活用した「個別最適な学び」と「協働的な学び」により、分かりやすい授業づくりに努めた。



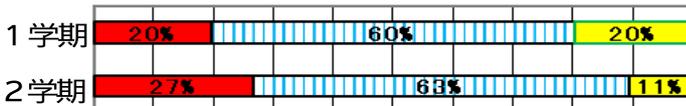
## ② 生徒アンケート結果

各教科でタブレット（ロイロノート）やデジタル教科書等が用いられ、授業が分かりやすく、授業内容が理解できた。



## ③ 保護者アンケート結果

お子様は、タブレットやデジタル教科書の活用により、授業が分かりやすいと感じている。



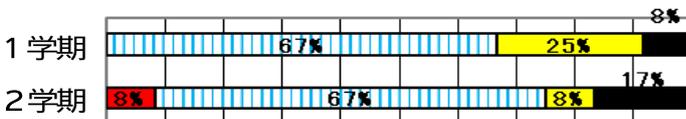
## ④ 考察(成果と課題)

1、2学期の評価を比較すると、保護者のA+B評価が80%→90%と向上しました。今年度タブレット等のICTを活用して授業改善に取り組んでまいりました。今後も「授業内容が分かる」ことを土台にして、互いに伝え合うことを通して学び合う授業づくりを進めてまいります。

## (2) 読書活動・新聞活用による読解力向上

### ① 教職員自己評価結果

各教科の授業における言語活動や、読書・デジタル新聞の活用の充実により、読解力の向上に努めた。



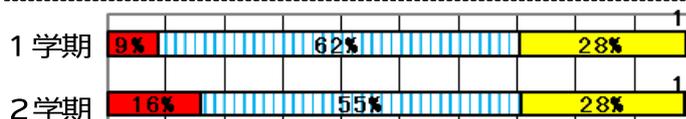
## ② 生徒アンケート結果

授業での話し合い活動や説明活動、読書活動やデジタル新聞を活用した学習により、ものごとを読み取る力を身に付けることができた。



## ③ 保護者アンケート結果

お子様は、授業における話し合い活動や説明活動、読書活動やデジタル新聞を活用した学習活動により、ものごとを読み取る力を身に付けている。



## ④ 考察(成果と課題)

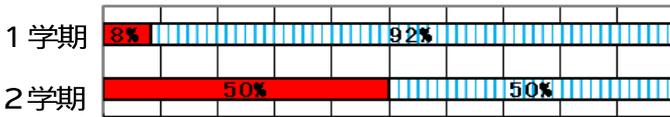
1、2学期の評価を比較すると、生徒のA+B評価が90%を超す評価を得ましたが、保護者のA+B評価が71%と変わらず、教職員のD評価が8%→17%でした。授業でICTを活用し、話し合いや説明する活動を行っていますが、読書や新聞を活用した学習に課題が残りました。授業内容を理解するためには読み取る力を身に付けることが必要不可欠です。読み取ったことを互いに伝え合うことで、知識をより自分のものにしていく事ができる指導を充実させる必要があります。今後も本校の重要な課題の1つとして取り組んでまいります。

## 2 「自立：自ら考え判断しやり遂げる生徒の育成」

### (1) 協力・協働して物事をやり遂げる生徒の育成

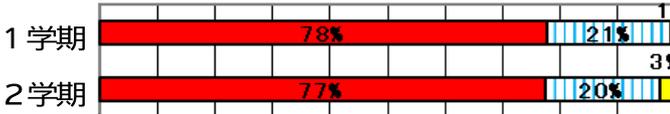
#### ① 教職員自己評価結果

道徳や特別活動等を通して、相手を尊重し、協力・協働してやり遂げる生徒の育成に努めた。



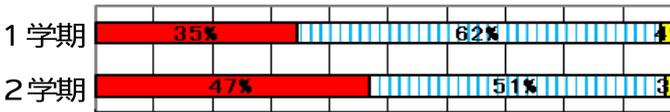
#### ② 生徒アンケート結果

授業や生徒会活動、部活動、学校行事等で、相手を尊重し、みんなと協力してものごとをやり遂げることができた。



#### ③ 保護者アンケート結果

お子様は、相手を尊重し、みんなと協力してものごとをやり遂げている。



#### ④ 考察(成果と課題)

2学期はのぞみ祭や修学旅行、学習旅行等の行事を通して皆で協力・協働して物事に取り組む態度が育ちました。コロナ禍にあっても感染防止対策を講じながら、生徒が主体となる活動を保護者の方に参観していただきたいと思っております。今後も様々な行事等を通して、お子様の社会性や人間性を育ててまいります。

### (2) 自主的・主体的に取り組む生徒の育成

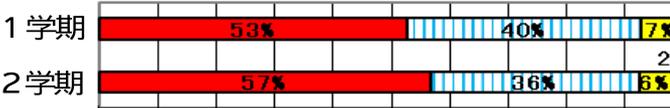
#### ① 教職員自己評価結果

生徒会活動や系活動を通して、物事に自主的・主体的に取り組むことができる生徒の育成に努めた。



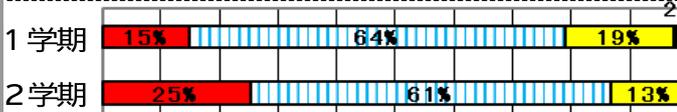
#### ② 生徒アンケート結果

生徒会活動、部活動、学校行事等で、自ら進んで行動(自主性)したり、自ら考えて行動(主体性)したりすることができた。



#### ③ 保護者アンケート結果

お子様は、ものごとに自ら進んで行動(自主性)したり、自ら考えて行動(主体性)したりしている。



#### ④ 考察(成果と課題)

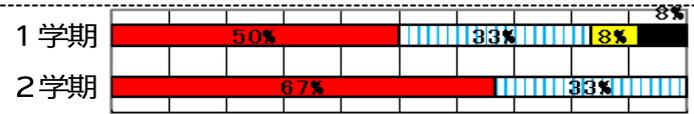
1学期と2学期の評価を比較すると教職員、生徒、保護者ともにA評価が増加しています。着実に生徒たちが成長し学校と家庭生活において主体性や自主性が育かれたことの現れであるともいえます。今後も様々な教育活動で、自ら進んで物事に取り組むことができるような支援や指導を継続してまいります。

## 3 「健康：たくましい心と体をもつ生徒の育成」

### (1) 「誰一人取り残さない」視点による組織的な支援

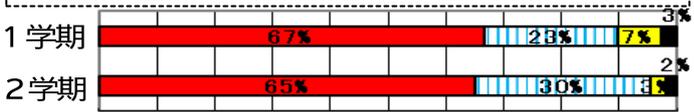
#### ① 教職員自己評価結果

SCや関係機関との連携、支援計画・アンケートの活用により、いじめや不登校等への組織的支援に努めた。



#### ② 生徒アンケート結果

先生やスクールカウンセラーが自分のことを理解し、支援してくれるので、安心して学校生活を送ることができた。



#### ③ 保護者アンケート結果

お子様は、教職員やスクールカウンセラーが理解し、支援してくれるので安心して学校生活を送っている。



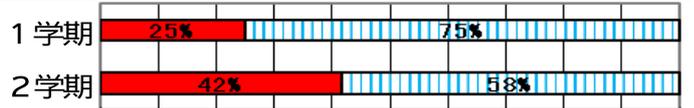
#### ④ 考察(成果と課題)

「誰一人取り残さない」視点による組織的な支援を進めるため、生徒支援委員会を中心とした支援を進めています。今後も全教職員で生徒の皆さんとのつながりを大切にスクールカウンセラーとの連携やいじめアンケートを活用しての支援に努めること、保護者の方との信頼関係を築くことを大切にして支援を進めてまいります。

### (2) 生徒の健康・体力の維持向上

#### ① 教職員自己評価結果

保健体育科、部活動、養護教諭と連携し、生徒の体力向上や食育・肥満防止・歯科健康等の健康教育に努めた。



#### ② 生徒アンケート結果

保健体育科の授業や部活動、「朝食週間」や「一斉歯磨き」などの保健に関する活動により、体力向上や健康について心がけたり実践したりした。



#### ③ 保護者アンケート結果

お子様は、保健体育の授業や部活動、「朝食週間」、「一斉歯磨き」等により、体力向上や健康についての意識や実践力を高めている。



#### ④ 考察(成果と課題)

2学期は1学期に引き続き、高瀬小中コミュニティ・スクールの機能を生かし養護教諭を中心とした歯科受診率100%への取組や食育の推進によるフードロスの削減に取り組んできました。この取組は、昨年度から継続して行っています。生徒のA+B評価は昨年度と同様の結果でしたが、保護者のA評価をみると、昨年2学期が18%、本年度は28%→32%へと向上しています。このことから学校での取組に一定の理解をいただいているとも言えます。今後も安心安全な学校生活を送ることができるように健康安全教育を進めてまいります。